

「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 福岡県北九州市小倉北区浅野二丁目14番1号KMMビル 3F
団体名 株式会社マイナビ 北九州支部
代表者 北九州支部長 竹藤 窓香

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

団体概要

(ふりがな)		まいなび きたきゅうしゅうしぶ
団体名		株式会社マイナビ 北九州支部
(ふりがな)		たけふじ まどか
代表者氏名		竹藤 窓香
所在地	市内事業所	北九州市小倉北区 浅野二丁目14番1号KMMビル 3F
	主たる事業所	東京都千代田区一ツ橋一丁目1番1号 パレスサイドビル
事業概要		(1) 新聞の発行および出版事業ならびに電子出版事業 (2) 就職情報の提供ならびに求人・採用活動に関するコンサルティング (3) 宣伝、広告、ピーアール業 (4) 労働者派遣事業 (5) 有料職業紹介事業 (6) セミナー、講演会、講習会等、催事の企画、立案、実施 (7) 人材育成、企業経営のコンサルティング、教育、研修業務 (8) 高校、大学、専門学校等への進学に関する情報の提供ならびに生徒、学生の募集に関するコンサルティング (9) 各種検定試験の運営および運営の請負 (10) プライダル情報の提供 (11) 農業に関する情報の提供 (12) 医療機関に関する情報の提供 (13) 旅行業 (14) 文化、研究、芸術、スポーツなどの国際交流事業の企画、立案、実施 (15) 生命保険の募集に関する業務および損害保険代理店業 (16) 各種教室の経営および通信教育事業ならびに関連商品の販売 (17) 通訳翻訳業務 (18) コンピュータシステムの開発、運用および保守業務 (19) コンピュータソフトウェア、ゲームソフトウェア、映像ソフトウェア、音楽ソフトウェアの企画、開発、制作、販売および輸出入業務 (20) 電話その他の通信回線およびコンピュータシステムを利用した情報処理、情報提供サービス (21) コンタクトセンターの運営および管理 (22) ビジネスプロセスアウトソーシング業務 (23) 給与の支払いに関するシステムの開発提供およびアウトソーシング業務 (24) コンピュータ処理による地図・位置空間情報の制作業務 (25) 日用品雑貨、衣料品・衣料雑貨、アクセサリー、ぬいぐるみ、飲食品などの企画、販売、輸出入およびその仲 (26) 飲食店の経営、管理、運営およびその企画、開発 (27) 宿泊施設の経営、管理、運営およびその企画 (28) 通信販売業務 (29) 農産物、加工品等の販売 (30) ふるさと納税に関する情報の提供、企画およびコンサルティング (31) オークションの企画および運営 (32) 刊行物および商品の発送代行 (33) 著作権、商標権など知的財産の管理、運用、販売および仲介業務 (34) 各種債権の売買 (35) M&Aに関する仲介、斡旋、コンサルティングおよびアドバイザー業務 (36) 不動産の賃貸、売買、仲介、斡旋および管理業務 (37) ビルの経営、管理、運営およびその企画、開発 (38) 介護福祉事業 (39) 医薬品、医薬部外品、化粧品、医療器具、健康食品およびこれに関連する商品の製造販売ならびに輸出入業務 (40) 前各号に付帯する一切の事業
企業・NPO法人等の別		企業
業種（企業のみ）		サービス業（他に分類されないもの）
従業員数（企業のみ）		6～20人
ホームページの有無		有
ホームページURL		https://www.mynavi.jp/

連絡先

担当部署	北九州支部
担当者	竹藤 窓香
電話番号	093-551-5840
メールアドレス	takefuji.madoka@mynavi.jp

提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：SDGsの達成や地域課題の解決を目指すパートナーシップ構築に向けて
- ・【北九州SDGsクラブ未入会の場合】クラブ参加登録申込をWebにて行ってください

SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）

企業名 株式会社マイナビ 北九州支部

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していない「具体的な 取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のある ゴール・ターゲット	最も関連性のある 「北九州市基本計画」 の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (C O 2 削減)					・ガソリン排出量53期（24年10月～25年9月）の把握 ・全社での照明のL E D 化に向けた状況把握 ・全社オフィスでの消灯自動化に向けた状況把握 ・クールビズ・ウォームビズの推進 ・環境方針の策定 ・環境対応型自動販売機の導入	ゴール	指標
				7.2	13.3			ゴール13	⑪
								ターゲット	具体的な取組
								13.3	
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3 R（リデュース、リユース、リサイクル）を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					・エコマーク商品の採用 ・分別回収ボックスの適正配置等により、ごみの分別を徹底している ・営業活動などで不要になったクリアファイルを回収し、リサイクル・リユースに取り組んでいる	ゴール	指標
				9.4	12.5			ゴール12	
								ターゲット	具体的な取組
								12.5	10
3	事業に伴う調達（原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等）について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 (サプライチェーン管理)					・2025年12月（目途）サプライチェーン方針策定完了目標 ・自社から他社に対してのCSR調査に関しても2026年4月を目途に実施予定	ゴール	指標
				10.2	12.2	13.3		ゴール12	
								ターゲット	具体的な取組
								12.2	10
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					・不当表示を行わないことに関する自社の方針や行動規範等を策定している	ゴール	指標
				12.6				ゴール12	
								ターゲット	具体的な取組
								12.6	12
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済 ・社会 (商品開発)					・北九州市内にて地元企業による採用イベントの主催を複数回行っている	ゴール	指標
				8.3	9.4			ゴール9	①
								ターゲット	具体的な取組
								9.4	
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 (労働環境整備)					・時差出勤制度を設けている ・特務コースと呼ばれる勤務地限定正社員制度を導入している ・テレワークができる制度・環境を整備している	ゴール	指標
				3.4	5.5	8.8		ゴール3	①
								ターゲット	具体的な取組
								3.4	
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備や人権教育等に取り組み、女性活躍など、多様な人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ジェンダー平等)					・人権方針を掲げ、差別を禁止しているとともに、全社員向けの研修をはじめ、階層別の研修も実施している。 ・全従業員における女性の割合は47%。女性の管理職比率も35%である。 ・障がい者雇用率も法廷基準を上回り、2.69%を達成している。	ゴール	指標
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール8	⑯
								ターゲット	具体的な取組
								8.5	
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 (ハラスメント防止)					・ハラスメントを禁止することを明記した自社の方針や行動規範等を策定している ・社員等に対して、ハラスメントに関し、研修等を通じて周知・啓発に取り組んでいる ・ハラスメントに関する相談窓口を設置している ・職場における暴力とハラスメントを禁止する自社の方針や行動規範等を策定している。 ・社員等に対して、職場における暴力やハラスメントの防止に関する研修を実施している ・職場における暴力とハラスメントに関する相談窓口を設置している	ゴール	指標
				5.1、5.4	8.8	10.2		ゴール5	⑭
								ターゲット	具体的な取組
								5.1	
9	疾病予防や早期発見、感染症防止などの衛生対策を講じるとともに、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					・「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」の認定を取得している ・定期健康診断受診率は100%を達成しており、ストレスチェック受診率も90%を超えている ・感染症の拡大を防止するため、テレワークや時差出勤などの対策を実施している	ゴール	指標
				3.4	8.8			ゴール3	⑩
								ターゲット	具体的な取組
								3.4	
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報の外部への発信やインターンシップの受入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					・従業員一人ひとりが職種・役職を問わず高い対人能力を備え、仕事や課題に対して成果を創出するための思考力を磨き、成長できるよう支援している。そのために、必要となるポータブルスキル・マインド(※)を掲げ年間約43種類100回以上にわたり、座学研修やオンライン研修などを幅広く展開している ・職場体験や社会科見学を受け入れている ・学校等と連携し、出前授業を行っている	ゴール	指標
				4.4	8.2、8.6	9.1		ゴール4	⑭
								ターゲット	具体的な取組
								4.4	
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止、個人情報 の適切な管理、飲酒運転の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)					・腐敗防止方針策定に着手しており、2025年6月を目途に完成予定 ・業務上、車両を運行する際にアルコールチェックを行うなど、飲酒運転防止策を実施 ・個人情報保護マネジメントシステムを策定 ・情報セキュリティ体制を構築 ・プライバシーマークを取得	ゴール	指標
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	⑬
								ターゲット	具体的な取組
								16.3	
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当者や担当部署を設置し、CSV（※）などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					・SDGsを推進する社内体制の構築 ・BCP対応選任部門が新設され、不測の事態に対応できるよう、備えている。	ゴール	指標
				11.b	13.1	17.14		ゴール12	⑪
								ターゲット	具体的な取組
								12.6	

※CSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）

企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス（経済的な価値）を創出すること。

SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和7年 8月15日
 団体名 株式会社マイナビ 北九州支部

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

◆ SDGs達成に向けた取組方針等

すべてのステークホルダーと共に、マテリアリティをはじめとした様々な社会課題の解決に取り組み、環境・社会・ガバナンスの各視点からサステナビリティの推進に努め、未来が見える世界を切り拓くための社会貢献活動を積極的に展開していきます。

◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野 に「○」		SDGs達成に向けた 重点的な取組	指標（KPI）・目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で 設定してください。		最も関連性のある 「北九州市基本計画」との関係	
					最も関連性のある重 点戦略との関係	最も関連性のある 「北九州市基本計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載でも可
経済		環境の教育・啓発活動を行い、社員の意識の 変化を促す	指標 (KPI)	環境e-learning受講 率	稼げる まち	指標
社会			目標値		彩りあ るまち	⑪
環境	○		2030年 (その他の場合) ()年	100%	安らぐ まち	具体的な取組
経済		全社員を対象とした人権理解を深める方針お よび施策の立案・実施	指標 (KPI)	人権DDの推進体制確立 人権に関する研修の実施率	稼げる まち	指標
社会	○		目標値		彩りあ るまち	具体的な取組
環境			2030年 (その他の場合) ()年	100%	安らぐ まち	28 多様性の認め合う文化のまちづくり
経済	○	適切な個人情報の管理	指標 (KPI)	プライバシーマーク維持 重大な個人情報漏洩件数	稼げる まち	指標
社会			目標値		彩りあ るまち	具体的な取組
環境			2030年 (その他の場合) ()年	0件	安らぐ まち	29 誰もが安心して暮らせる環境づくり

記載について

- ・「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- ・必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。
（1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません）
- ・指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

SDGsの達成や地域課題の解決を目指すパートナーシップ構築に向けて

団 体 名：株式会社マイナビ 北九州支部

SDGsの達成や地域課題の解決に、パートナーシップを通じて取り組むために、自らの組織が提供できる価値や必要としているものについて記入してください。

◆1)自らの組織が提供できる価値(商品・サービス・ノウハウ)

誰の (企業・自治体・教育機関・団体・市民など)	どんな課題に対して どんなSDGsゴールに対して	何を使って	何ができるか	キーワード(3つ～5つ程度) ※1行に1個ずつ記載してください (例：温室効果ガス削減・働き方改革など)
企業・自治体・教育機関・団体	人材の確保	ノウハウやソリューションの提供	企業の成長に必要な担い手の情報提供 新たな可能性の創出	人材戦略
				採用戦略
				採用
				育成
教育機関	キャリア形成	自社で開発した中学生向けキャリア授業プログラムの 無償提供	シビックプライドの育成 キャリア形成支援 地域社会と仕事のつながり	社員研修
				キャリア形成支援
				シビックプライドの育成
				探究学習

◆2)自らの組織が必要としているもの(商品・サービス・ノウハウ・連携先)

解消したい地域課題・達成したいSDGs目標	自分たちの組織に不足している要素 (人材・製品・サービス・ノウハウ・技術・連携先・資金)	どのような利害関係者と (企業・自治体・教育機関・団体・市民など)	課題を解決するために何をしたいか	キーワード(3つ～5つ程度) ※1行に1個ずつ記載してください (例：温室効果ガス削減・働き方改革など)
働きがいも経済成長も	連携先	企業・自治体・教育機関・団体	自社で開発した中学生向けキャリア授業プログラム、 高校生向け探究学習プログラム等の 無償提供	キャリア形成支援
				シビックプライドの育成

記載について

- ・1)および2)の各項目について具体的な内容を記載して下さい。